

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	スーパー（統 括）	来客数の動き	・3月に引き続き、売上は数年ぶりの好成績となっ ている。1点当たりの単価は落ちているが、買上点数が 伸びていることから、客単価が下げ止まってきてい る。
		家電量販店（店 長）	単価の動き	・地上デジタル放送関連商品に象徴されるプラズマ、 液晶の大画面薄型ディスプレイが好調である。
		通信会社（営業 担当）	競争相手の様子	・競合他社も含め、インターネットの加入数が伸びて いる。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	お客様の様子	・レジ周りの商品を衝動買いする客は少なくなった が、目的買いの客は単価を気にせずに買物している。
		百貨店（売場主 任）	販売量の動き	・昨年に引き続きクールビズの展開を早め、トータ ル的な提案をすることで、おしゃれな男性の来店が非常 に多くなっている。
		百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・紳士衣料品の売上が3か月連続で前年を上回って いる。
		衣料品専門店 （店長）	来客数の動き	・購買客数が前年比で20%伸びている。ただし、客 単価が低いため、販売量は前年並みである。
		住関連専門店 （仕入担当）	単価の動き	・天候の影響で売上高は前年に比べ下がっているが、 1品単価は継続的に上昇している。
		一般レストラン （経営者）	お客様の様子	・相変わらず会社関係の宴会は少ないものの、一般客 による法事、グループでの会食など、客の動きを感じ る。
		都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	・運動関係の学生など、団体客が増加している。自動 車関連で下請等の関連企業の割合も増加してきてい る。連泊などで1人当たりの宿泊日数も増えている。
		都市型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・例年と比べ、歓送迎会の需要が若干活況である。
		旅行代理店（支 店長）	お客様の様子	・法人の旅行は少し上向きである。今月に入り、今 まで旅行を計画しなかったところで今年は行こうかとい う動きも出ている。一方、業績の悪いところは旅行ど ころではなく、二極化が進んでいる。これは個人旅行 についても同じで、旅行に行ける客は年2回、または ゴールデンウィークの料金が高い時でも行ける。しか し、行けない客は旅行どころではない。
		ゴルフ場（従業 員）	来客数の動き	・平日の動きが良く、2～3月と比べ来客数が約3% ずつ伸びている。
		ゴルフ場（副支 配人）	来客数の動き	・来客数の動き、予約の取り込み、引き合いは結構活 発である。
		ゴルフ場（支配 人）	来客数の動き	・雪もなく、天候が良好だったこともあり、割安コー スが周辺にあるにもかかわらず、予約は安定的に入っ ている。ゴールデンウィークの予約も前年並みに入っ ている。
住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・自動車関連産業に従事する人を中心に、現場見学会 などへの来場者が増加している。		
変わらない	商店街（代表 者）	販売量の動き	・桜前線は予報では例年より早いといわれていたが、 実際は1週間遅れであった。観桜客は2割増えたが、 桜の咲いている時期を逃したツアー客を中心に消費が 伴わなかった。	
	商店街（代表 者）	販売量の動き	・単価のことはあまり気にせず、良い物が変わった物 が欲しいという人が多い。	
	一般小売店〔精 肉〕（経営者）	お客様の様子	・花の季節になってきたが、「花よりだんご」は花だ けで終わりで、財布は持って歩かないようである。	
	一般小売店〔文 具・事務機〕 （経営者）	販売量の動き	・業種柄、例年3～4月は新学期の需要が多いが、こ こ何年も昔日のような需要がなく、期待していたが今 年も前年比5%減である。外商は若干プラスだが、地 方経済の悪さに改善はみられない。	
	百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・天候が不順で衣料品、特に婦人服の売上が悪い。	

	スーパー（統括）	販売量の動き	・フォーマルの春物は好調に推移しているが、トレーナー、ブルゾンなどのカジュアル衣料は点数、単価共に苦戦している。食品では健康指向の新製品がけん引役となり、基礎調味料等の不振をカバーするまでになりつつある。消費者の健康志向は一層顕著になってきているものの、全体としては横ばい傾向である。
	衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・3か月前と比べ、下見や試着など、客の買物に対する態度や動きが幾分上向いてきているが、まだ実売までは至っていない。
	乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・ある程度広告宣伝費をかければ車が売れるという状況は変わっていない。今年に入ってから毎月同じように広告を出して、車を買いたい人、買う客だけが確実に来店してきている。販売台数はここ4か月変わっていない。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・宴会の動きがやや低調で、フリーの客もかなり少なく、あまり良くない。今年は寒くて桜がなかなか散らなかったので、花見に客を取られたのではないかと考えている。フリーの客があまり多くないのは、このところずっと続いている傾向である。
	スナック（経営者）	お客様の様子	・団体の来店が少なくなっている。元気の良い会社とそうでないところの差がはっきりしてきている。
	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・冬季シーズンが終了し、例年伸び悩む時期でもあるが、今年は中旬の入込がかなり悪かった。月の後半、外国人団体客の入込が予想以上に伸び、何とか例年並みとなったが、決して景気が良いとはいえない。
	旅行代理店（副支店長）	単価の動き	・インターネット等の中抜き品の商売が多く出てきているため、特にその関係の企業は単価を安くしなくてはならなくなっている。
	観光名所（職員）	お客様の様子	・例年に比べて雪解けが早く、暖かいことから、客の入込状況は例年より多くなっている。レストラン、ホテル関係の売上は、一部の人気店を除き、例年並みである。
	美容室（経営者）	販売量の動き	・美容室はパーマ、カラーリングで単価を上げるか、単価の低いセット、カットの客数を増やすかである。4月は行事などで来客数は普段と同じであったが、深刻なパーマ離れで、売上はあまり増えていない。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・時が止まっているかのように、動きがない。一部ハウスメーカーからの図面トレースの仕事量は多くなっているが、直接依頼の客、工務店からの依頼がなく、仕事の確保ができない状況が続いている。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・地方は東京とは違い、まだテナントの統合や撤収がいくつかあり、商店街の空洞化は相変わらず進んでいる状況で、景気が良くなったという実感は全然ない。不動産も安い物件は引き合いがあるが、普通の値段ではなかなか見てもらえない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・郊外の大型店に客を取られているのか、商店街の客足がかなり減っている。
	一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・4月は学生用品の販売で忙しさはあったが、買い控えや枚数を減らすなどで、売上は前年比で10%以上落ちている。
	一般小売店〔青果〕（店長）	販売量の動き	・12月ごろの干し芋など、必要なものは高くても結構売れるが、マスクメロンのような2～3千円クラスの金額になると全く動かなくなっている。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・春休みが終わったころ、一時良いような動きになったが、このところずっと売上、来客数、客単価が落ちている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車が発売になり4か月が経過したが、発売当初の販売台数を維持できず、徐々に減少している。
	その他専門店〔燃料〕（経営者）	単価の動き	・原油高騰による単価の値上がりで、販売量が落ち込んでいる。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・3～4月は歓送迎会が結構入ったが、単価は低く、大きな集まりが段々減ってきている。宿泊も常連客はいるが、年々団体客が減ってきている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・例年4月は歓送迎会で忙しい時期だが、今年は動きがあまり良くない。

	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・4月の在庫台数は過去10年間で最低である。10年以上前の古い車両が前年並みである外は、減少が続いており、高年式の1～2回目という車検はほとんどない。ディーラーの囲い込みがますます強くなってきている。	
	設計事務所（所長）	販売量の動き	・新規の依頼物件がなく、現在手掛けている物件が終了したあと、仕事がかかる保証がない。同業者や建設業者からも受注物件が少ないと聞いている。	
	悪くなっている	コンビニ（店長）	それ以外	・4月に入ってから毎晩のように雨が降っているので、夜の客が少なく、売上が最悪である。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・比較的高価格帯の商品の荷動きが相変わらず良い。
		金属製品製造業（経営者）	競争相手の様子	・自動車、産業機械、工作機械等、大変好調に推移している。一方、親会社の生産拠点が遠方に移動するために発注先の変更や取引ができなくなる例が出てきており、設備には慎重になっている。
		金融業（調査担当）	受注量や販売量の動き	・一般機械、電子部品デバイス、輸送用機械部品を中心に製造業の受注は堅調に推移している。非製造業はガソリン、灯油価格の高騰により、利益面で厳しい状況が続いている。全体では製造業にけん引され改善方向にあるが、非製造業全体に波及するまでには至っていない。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新年度に入り、新規販促予算が増えている。宣伝広告及び事業案内ツールなどの受注も前年を5%ほど上回っており、現在でも引き合いが増えている。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・チラシ出稿量は前年比101%であるが、年末に大型店が閉店したことを考慮するとかなり健闘している数字である。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、受注量共に増加傾向にあり、取引が活発化してきている。
	変わらない	一般機械器具製造業（生産管理担当）	受注量や販売量の動き	・受注増に伴う納期に対応するため、4月は全社員で休日出勤を行っている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・在庫調整で受注ゼロの状態が続いている取引先がある。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・部品加工等は非常に忙しい状況が続いているようだが、組立及び地盤実装関係では仕事が少なくなっている。
その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）		受注量や販売量の動き	・3月後半から多少良くなってきた店舗もあるが、売上不振の店は相変わらず回復していない。	
その他サービス業〔放送〕（営業担当）		受注量や販売量の動き	・中長期契約の官公庁、電機、自動車産業等からのタイムコマースは横ばい状況にある。商業、サービス業、不動産からのスポットコマースはわずかに増加してきているが、大型店、商店街からのイベント受注が激減している。	
やや悪くなっている	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・従来品の生産を3月で打ち切り、4月から新製品の試験的製造を開始しているので、売上が大幅に減少している。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が通常の3分の1以下になり、操業を短縮するところまでいっている。何とか回っているが、1月と同様に4月の受注量は非常に悪く、先細りの感がある。	
	輸送業（営業担当）	競争相手の様子	・燃料高のため、協力会社等の車両確保が特に厳しく、業務も運賃の確認が先になっている状況である。前年並みの輸送量確保は難しい。	
悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・特注品に加え、店頭的一般商品関連の受注量が激減している。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注量は前年比で横ばいであるが、原材料が前年より約40%値上がりしており、価格転嫁が進まずに、収益が非常に圧迫されている。	

		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・公共事業依存が高い会社のため、公共事業削減の影響が大きく、受注高が前年比71%と減少している。人員も減らしているが、経営は厳しい。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	採用者数の動き	・前年同時期に比べ、仕事量がやや多くなっている。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・企業の抱え込みが進んでいるようで、派遣の登録スタッフ数が減少傾向にある。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・製造業を中心に、派遣を含め、求人数の増加が顕著になってきている。ただし、求人数はあるものの、正社員の採用条件が厳しいことは変わっていない。派遣、契約、アルバイト、パートを考える企業が圧倒的多数になってきている。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・来年度に向けた就職活動も本格化し、すでに内々定を獲得した学生が出始めている。人数はまだ少ないが、就職活動の早い時期から希望に沿った企業の内々定を得ているということもあり、状況は好転している。
変わらない	人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き	・自動車関連、住宅関連等の加工部門では、この3か月生産量は落ちているが、求人数は横ばい、求職者の動きは意外と流れていない。販売サービス部門の求人広告等が目立っている。全般的には、ほぼ横ばいの状態で推移している。	
	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・1月中旬～4月中旬まで求人広告の掲載件数はかなり伸びていたが、ここにきて連休が入る関係で広告申込みが落ちている。また、コンビニや外食等では今まで何度か掲載をしているが、人が集まらない状況だと聞いている。	
	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・4月後半になってから求人企業も減っており、正社員募集は特に少なく、まだ本格的な景気回復には至っていない。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は6,177名と、前年同月比で3か月連続増加しているが、その内容は2,000名を超えるパート求人や、求人数全体の19%を占める派遣求人などであり、正社員の求人状況が厳しいことは変わっていない。	
やや悪くなっている	-	-	-	
悪くなっている	-	-	-	